



主体的に学び、地域で活躍する長崎県立大学の学生たち。
企業と協力するプロジェクトや専門知識を活かした取り組み、
長崎で就職した卒業生についてご紹介します。

01 STEBOLD 情報システム学科を中心とした学生たちが V・ファーレン長崎主催のプログラミング教室で講師に



当日は約30人の小学生が参加。定員を上回る参加申し込みがあったそう。最初は緊張した様子でしたが、徐々に和やかな雰囲気となりました。

学内外での
多種多様な学びの
機会を提供!



Pepperを使った簡単なプログラミングを小学生が楽しみながら学び実践する機会に

プロサッカークラブのV・ファーレン長崎とソフトバンク、長崎県立大学がコラボレーションした企画。2022年7月、ホームゲームに合わせたイベントとして小学生向けのプログラミング教室を開催しました。企画や運営を担ったのは、情報システム学科の平岡ゼミを中心とした有志の学生たち。当日は人型ロボットのPepper

を駆使しながら、簡単なプログラミングを実践。サッカー選手の紹介やクイズのプログラムを自分たちで作る実践的な内容で、子どもたちは楽しみながら学ぶことができました。平岡ゼミでは地元の小学校でのプログラミング教室も行うなど、地域との繋がりを活かした様々な取り組みを行っています。

VOICE



情報システム学部 情報システム学科 3年
中村 翔樹 さん

“専門用語の分かりやすい伝え方を工夫しました”

以前からV・ファーレン長崎のサポーターで、学童保育でのアルバイトもしている自分にぴったりの企画だと思い迷わず参加しました。春ごろから約10名の学生と一緒に準備を重ねてきました。一番苦労したのは、プログラミングの仕組みを小学生にも理解できる内容にまとめることです。今回は「一歩進む」、「右手を上げる」といった動作のブロックを組み合わせる方法で実践しました。途中で分岐処理という専門用語が出てきますが、そのままだと伝わらないので、学生同士で劇をしながら説明しました。当日はプレゼンテーションを担当。小学生30人の前で話をするのはかなり緊張しましたが、予想以上に子どもたちが喜んでくれて、特にサッカー選手のクイズ企画は盛り上がりました。今後も情報分野のスキルを活かして、地元の長崎に貢献できればと思います。

専門技術を
子どもに伝える中で
自分にとっても
学びがありました



02 STEBOLD 情報システム学科の学生が 色彩検定協会奨励賞を受賞

色のユニバーサルデザインに関する 色彩検定「UC級」にて満点合格を達成

情報システム学科には「色彩学」や「グラフィックデザイン」といった情報デザイン分野の専門科目があり、コンテンツ制作はもちろん様々な場面で役立つ色彩検定の取得を促しています。情報システム学科4年の嶺初菜さんは、受講後も色彩に関する勉強を継続。色の

ユニバーサルデザイン普及のために2018年に新設されたUC級を自ら受験して、満点での合格という結果を残しました。UC級の合格者には、色彩検定協会からUCアドバイザーの資格を付与されます。今後はさらに高いレベルの色彩検定1級の合格を目指しています。



UC級では、色が見えるしくみや表し方、色覚タイプや高齢者による色の見え方、配色における注意点や改善方法などの知識が問われます。「色彩学の講義で学んだ内容と重複する部分が多かったです」と話す嶺さん。テキストでコツコツ勉強を重ねて試験対策を行いました。



VOICE



情報システム学部 情報システム学科 4年
嶺 初菜 さん

“IT知識を兼ね備えたデザイナーを目指しています”

プログラミングだけでなく、情報デザイン領域も学べるカリキュラムに魅力を感じて情報システム学科に入学。2年次に色彩学の講義を受講しました。もともと絵を描くのが趣味で、以前は好みや気分で色を選んでいましたが、視認性や強調性など色の組み合わせによる見え方の違いを知識として学ぶことで、根拠に基づいて選ぶことができるようになりました。将来に活かせる色彩の知識をもっと身につけたくて、3年次の冬に色彩検定のUC級を受検しました。テキストを使いながら独学で試験対策を進めつつ、色彩学を担当する片山先生のゼミに所属していたので、分からない点などを相談しやすい環境でした。過去問でも取れなかった満点という結果に自分でも驚いています。内定先は、インターンシップでもお世話になった県内のデザイン会社です。デザインや色彩の知識だけではなく、大学で身につけたIT技術も活かしながら、どんどん仕事の経験を積み重ねていきたいです。

興味のある
分野の勉強に
モチベーション高く
挑戦!

